

令和4年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【総合的な学習の時間】

掲載数

12

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市立	高3	総合的な学習の時間	防災教育 「地震、津波、台風などの災害から命を守る」	地震、津波、台風の中から調べたいテーマを選択した。さらにクラス内でテーマを分け、グループごとに調べたものを模造紙にまとめ発表し合った。テーマは、地震「避難訓練の仕方」「止血や骨折の応急処置の仕方」「災害用伝言ダイヤル」津波「津波のしくみ」「避難所の場所と給水ポイント」「近隣の避難所探し」台風「台風を発生させる実験」「台風に伴う洪水や土砂崩れ」「台風の大きさと強さ」等。災害が起きた時の初動について具体的に学び、自分の命を守るための知識を深めることができた。	インターネットによる検索
2 横須賀市立	中複合	総合的な学習の時間	洗濯をしよう	人が生活していくうえで大切な「衣・食・住」の「衣」、その中の「洗濯」について取り上げた。体の衛生を保ち健康に暮らし、清潔な衣服を身につけることで気持ちよく社会生活を送るために自分で洗濯ができるようになることは大切だと考え取り組んだ。今年度は、干す・たたむを重点的に取り組んだ。車椅子の生徒が干しやすい高さを考えたり、自分の家のたたみ方の手順を発表し、たたみ方のマニュアルを作ったりした。	中学部2、3年生
3 横須賀市立	中複合	総合的な学習の時間	調理をしよう	人が生活していくうえで大切な「衣・食・住」の「食」、その中の「調理（自分でできる調理）」について取り上げた。障害により自宅では経験することが少ない家事の一つであるが、将来の自立を考え、できたらいいと思われる家事の一つである。電子レンジや電気ポット等の安全な使い方を知り、必要な食材の買い物に出かけた。1回目の活動を振り返り、2回目は教職員が支援する場面を減らし、自分たちで取り組めるようにした。また、活動する中で、意見の調整をしたり、助け合ったりして協力する大切さも学習した。	中学部2、3年生
4 藤沢市立	高3	総合的な学習の時間	性教育 「自分の成長を知ろう」	特別支援学校では自分の体の発育について正しく理解することに困難を示す生徒も少ない。そこで、今回は自分のプライベートゾーンを理解すること、異性との距離感を確認することを目的とした。	絵本・ぬいぐるみ
5 神奈川県立	高2	総合的な学習の時間	防災教育 「水害からいのちを守る」	ハザードマップなどを実際に見たことがある生徒は数名だった。ハザードマップを見て、学校周辺の浸水危険箇所を知るとともに、グループで実際に学校周辺を見て回り、災害時に「危険な場所」・「避難場所として安全なところ」・「避難後の生活に役に立つもの」などを見つけ、地図に記していき、実際に起きた時にいかに自分や大事な人の身を守ることができるのかを考えた。考えたことをパワーポイントに整理し、他学年にむけて発表を行った。生徒の中には近隣の高齢者施設などについても気にかける発言をする生徒がいた。	

6	神奈川県立	高2	総合的な学習の時間	防災学習	有事に落ち着いて自らの命を守る行動がとれるようになることを目的に、なぜシェイクアウトが必要なのかということを理解し、確実にシェイクアウト姿勢がとれる練習を行った。本校では全校で年間6回の緊急地震速報訓練（シェイクアウト訓練）も実施しているが、その訓練とも関連させて取り組んだ。	
7	神奈川県立	中2	総合的な学習の時間	防災教育	災害が起きた際、どこに・誰と・どのように避難するのか、生徒の防災意識を高め、万が一の際に安全に避難ができるよう、歩行・車椅子・抱っこ等の避難方法から生徒の実態に合った避難方法を選定し、避難練習を行った。避難の際に、車椅子から手を出さない、安心して身を委ねる等、落ち着いて取り組むことができるようになってきている。	避難方法 ・歩行 ・車椅子 ・抱っこ ・救護用担架
8	神奈川県立	中複合	総合的な学習の時間	防災教育 「自分の命を守る」	環境の変化が苦手な生徒が多く、避難所生活への対応は難しいのではないかとと思われるため、被災時に備えて模擬的に避難所体験をする学習を行った。学部で活動しているエリアに避難所を再現し、パーティションで区切られたスペースに寝る活動を行った。日頃寝る場所以外で「寝転ぶ」ことは難しく、混乱する生徒がいた。他の人の手本を見ることで短い時間「寝転ぶ」ことができた。日常とは異なる環境で体を休める練習をしたり、「避難所」という言葉を知ることができた授業となった。	講師は学部内の防災担当の教員。 1～3年生合同で行った。
9	神奈川県立	高複合	総合的な学習の時間	性感染症予防	・水酸化ナトリウム溶液とフェノールフタレイン溶液を使用した「水の交換実験」を行い、性感染症の広がり方を実感した。10人中8人の水の色が変わったのを見ても、性感染症は誰が感染しているかわからないまま、感染が広がってしまうこと、1回の性行為でも感染する可能性があることを学んだ。 ・妊娠から出産までの経過の話聞き、妊娠すること、無事に生まれてくること、高校生ままで生きていることも奇跡であることを学び、自分や相手の体を大切にしたいと改めて感じた生徒もいた。 ・性感染症の予防や避妊の方法について話を聞き、知らないことがたくさんあったことに気づき、自分や相手の体を守るために正しい知識を身につけることが必要だと気づいた生徒もいた。	講師は神奈川県内にある助産院の助産師。
10	神奈川県立	中複合	総合的な学習の時間	生まれてくるのではなく「生まれていく」視点	長谷川義史作「おへそのあな」を使った絵本の読み聞かせ。おかあさんのおなかの中にいるときから、おかあさんのおへそのあなから、外界を見たり聞いたり、外界においを感じたりしているという設定。主に家族の様子を感じているわけだが、自然界の音や月のささやきを聞いて、最後には自分の意志で生まれていく。 幼児は生まれる前のことを覚えているという人がいるが、もしかしたら中学部のみんなもそんな一面を持っていないかと期待して語り掛けてみた。神妙な表情で話者を見たり、じっくり考えているようなそぶりを見せたりする生徒もいた。 長谷川義史は「命」に関する絵本を多く出版しており、あと2冊、合計3冊で「命」について多面的な読み聞かせを実施する予定。	長谷川義史作 「おへそのあな」

11	神奈川県立	高3	総合的な学習の時間	食品ロスについて考えよう	食品廃棄の動画や画像を使用し、食品の大量廃棄の現状について知ることからはじめ、プリント学習により理解を深めていった。食品ロスを少なくする取組として「エコクッキング」があり、どのような料理があるかをタブレット端末を使用して検索し、興味を持つようにした。グループ別にエコクッキング料理を一つ選び、料理の写真や作り方を発表用の画用紙にまとめ、生徒は食品ロスをなくすことの大切さを学習した。	・食品ロスの動画、画像 ・ウェブサイト 「消費者庁の公式キッチン（クックパット）」
12	神奈川県立	高2	総合的な学習の時間	いのちのはなし	青葉区役所子ども家庭支援課の助産師をゲストティーチャーにお迎えし、「いのちのはなし」と妊婦体験、赤ちゃんの抱っこ体験を行った。「いのちのはなし」では、画像等視覚的支援を活用し、人の命の始まりや産まれ方、お腹の中や産まれた時の赤ちゃんの力について助産師から話を伺った。そのうえで、実際に妊婦体験キットを使い、高い場所のものをとったり、しゃがんだり、階段を歩いたりといった体験を行った。また、赤ちゃん人形を使って、赤ちゃんを抱っこする疑似体験を行い、産まれるまでの大変さや自分も含め命の大切さについて学んだ。	講師：青葉区役所子ども家庭支援課の助産師 教材：講師作成の画像資料、赤ちゃん人形、胎児ちゃん人形、妊婦体験キット